

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 城戸倫之

所属機関名(発表時) 愛媛大学医学部附属病院 放射線科

発表学会名 ASCI2011 (展示発表)

学会開催年月日 2011年 6月 17日～ 19日

演題名 Coronary-to-Pulmonary Artery Distance in Children with Congenital Heart Disease Measured by Multi-detector Computed Tomography

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2011年6月24日

◇本文

ASCI2011に参加して

愛媛大学医学部附属病院 放射線科 城戸倫之

2011年6月17-19日に香港のHong Kong Convention and Exhibition Centerで開催された、第5回ASCI2011に参加させて頂きました。私はASCI2010に続いて2回目の参加でしたが、今回は各国の著名な先生による教育講演などが多数ありました。いずれもポイントが押さえられた講演で英語能力に乏しい私にもなんとか理解できる内容となっており、特にドイツのStephan Achenbach先生の講演では心臓CTの有用性からpitfallまでがわかりやすくまとめられており大変勉強になりました

学会には約1000人の参加者があり、日本からも57人が参加し、多くの演題が採択されていました。私はポスター発表で小児心臓CTを用いた肺動脈と冠動脈の距離の測定評価について発表させて頂きました。

今回は18日の午後にASCIとSCMR (Society of Cardiovascular Magnetic Resonance)のjoint sessionが開催され、日本からは三重大大学の佐久間肇先生が中心となって、心臓MRI検査の各シーケンスの実際からその有用性、実際の臨床症例における診断のアプローチ方法など、普段心臓MRI検査に従事されている先生にも、あまりなじみのない先生にも勉強になる講演が目白押しで、大変有意義な時間を過ごすことができました。

学会後にはフェリーに乗って、対岸の九龍にわたり『100万ドルの夜景』とうたわれる香港の夜景を観光しに行きました。視界いっぱい広がる高層ビル群による夜景はとても美しく目を奪われましたが、その100万ドルの夜景を見に行くために乗ったフェリーの運賃が2.5香港ドル(日本円で30円程度)であったことにも驚きました。

今回、学会に参加させていただき、拝聴した内容が勉強になっただけでなく、海外の先端の研究や現状などを知ることで刺激を受け、日々の仕事へのモチベーションをあげることが出来ました。次回の第6回ASCI2011は6月7-9日にタイのバンコクで開催されるとのことで、来年もぜひ演題を出して参加したいと思いました。

最後に今回学会参加費を助成いただいた心臓血管放射線研究会の皆様から心から感謝申し上げます。

